

# 日野市橋梁長寿命化修繕計画

【改訂版】



令和4年10月策定

令和7年12月改定

日野市 まちづくり部 道路課

# 目 次

- 1 橋梁長寿命化修繕計画の目的**
- 2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁**
- 3 橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針**
- 4 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針**
- 5 橋梁長寿命化修繕計画策定の考え方**
- 6 橋梁長寿命化修繕計画による事業計画**
- 7 橋梁長寿命化修繕計画による効果**
- 8 助言をいただいた学識経験者及び計画策定担当部署**

# 1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

## 【背景】

日野市では、橋梁の「安全」「安心」を持続的に確保していくため、計画的な管理を行うことによって維持管理費の縮減や平準化を目指し、平成26年度に「日野市橋梁長寿命化修繕計画」（以下「元計画」という）を策定しました。

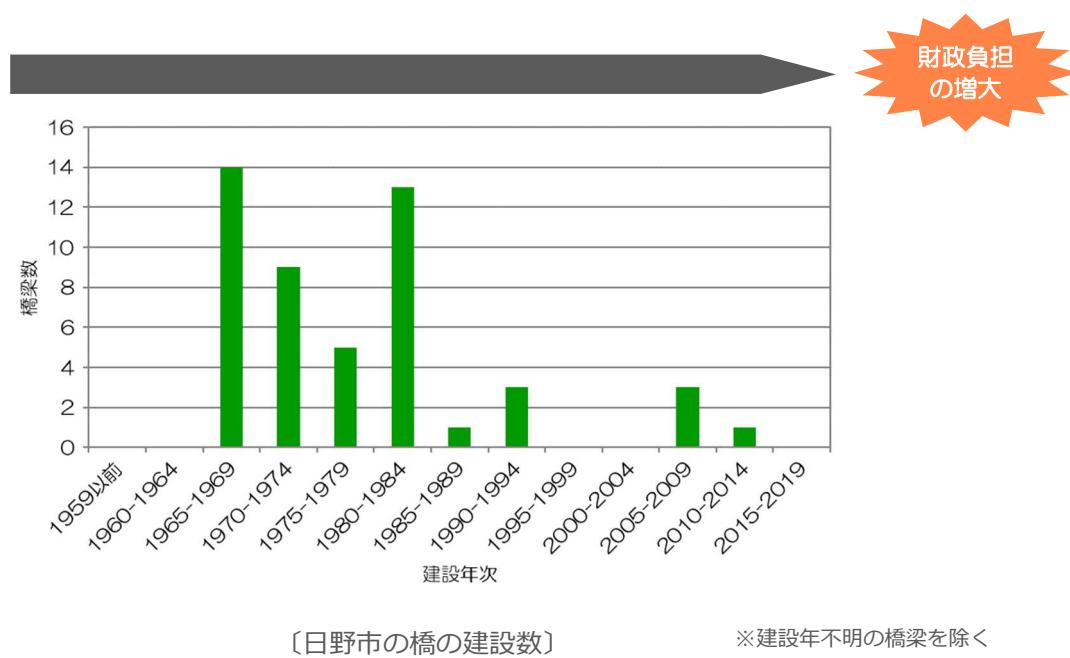
その後、笹子トンネル天井板崩落事故をきっかけとした平成25年度の道路法一部改正、平成26年度に「道路橋定期点検要領」（H26.6国土交通省道路局）が示され、橋長2m以上の管理橋梁の点検が義務化されました。これを受け、日野市では平成27年度から令和3年度に定期点検を行っています。

## 【目的】

日野市は現在172橋の橋梁を管理しています。これらの橋は今後、老朽化し、架替えによる財政負担が大きくなることが懸念されています。計画的かつ予防的な修繕を行うことで橋の長寿命化を図り、老朽化する橋の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行うことを目的とします。

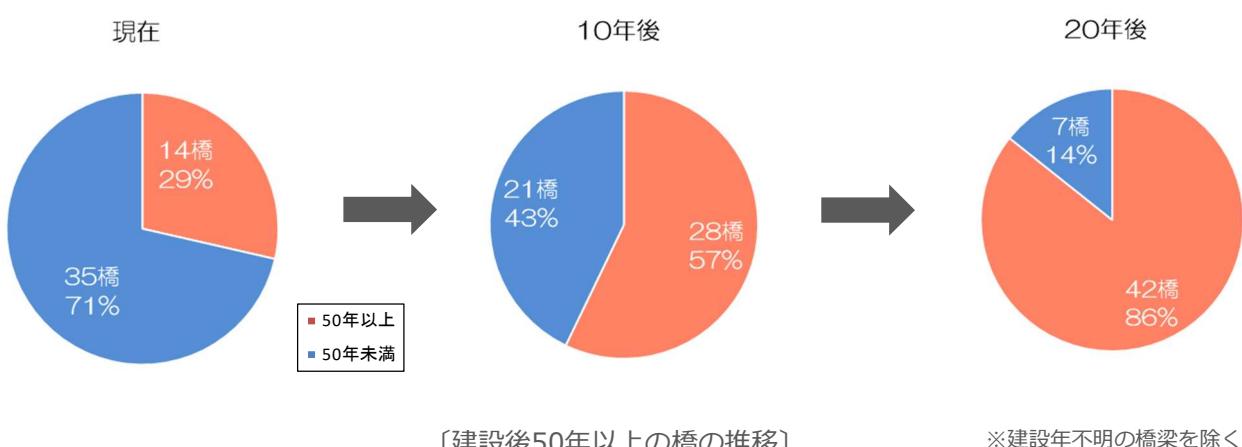
## 【計画期間】

令和4年度から令和13年度



〔日野市の橋の建設数〕

※建設年不明の橋梁を除く



〔建設後50年以上の橋の推移〕

※建設年不明の橋梁を除く

## 2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

橋梁長寿命化修繕計画の対象とする橋は、管理橋梁全ての172橋としています。

令和4年度(2022年度)計画策定橋梁数

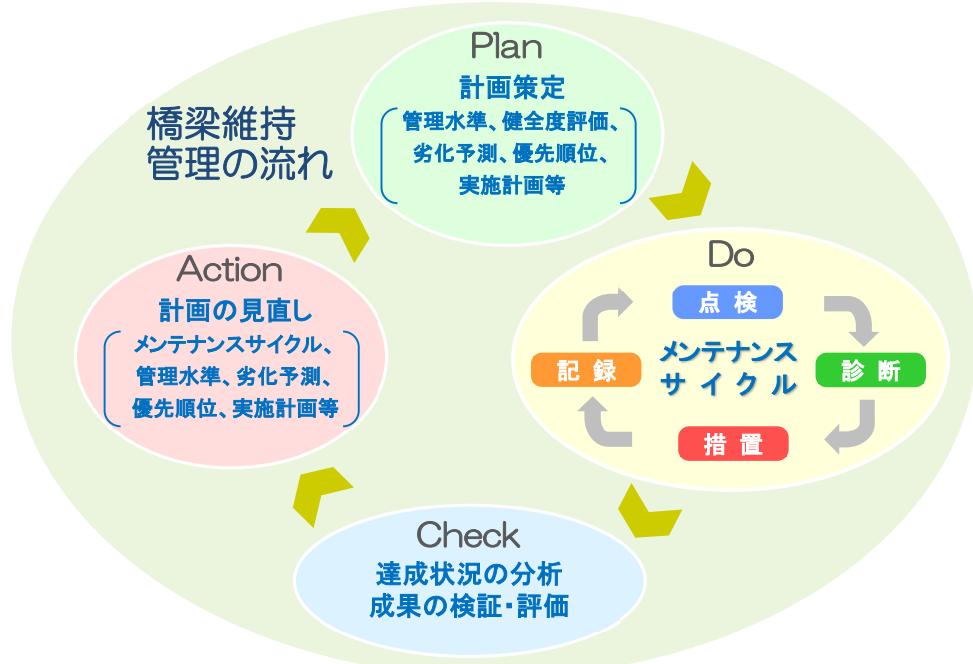
172 (橋)

## 3 橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

日野市では、平成27年度から橋の点検を行っており、今後も定期的に点検を行っていくことで安全確保に努めています。

橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針は以下の通りです。

- ◆ 橋梁の健全性を把握するため、定期的に点検を行います。
- ◆ 対症療法的な従来型管理から、劣化の進行を予測した上で、損傷が深刻化する前に修繕を行う計画的管理へ転換し、橋梁の長寿命化を図るとともに、修繕・架替えに係わる費用の縮減を図ります。
- ◆ 点検結果より健全性の評価を行い、「跨線橋及び跨緊急輸送路橋」「1級河川に架かる橋梁」「幹線市道Ⅰ号線の橋及びその他跨道橋」を重要度の高い橋梁とし、各橋梁の特性に応じ優先順位を決定した上で、対策実施の優先順位付けを行います。
- ◆ ライフサイクルコストを試算し、最適な修繕計画を策定し、橋梁に係わる維持管理コストの平準化を図ります。



## 4 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

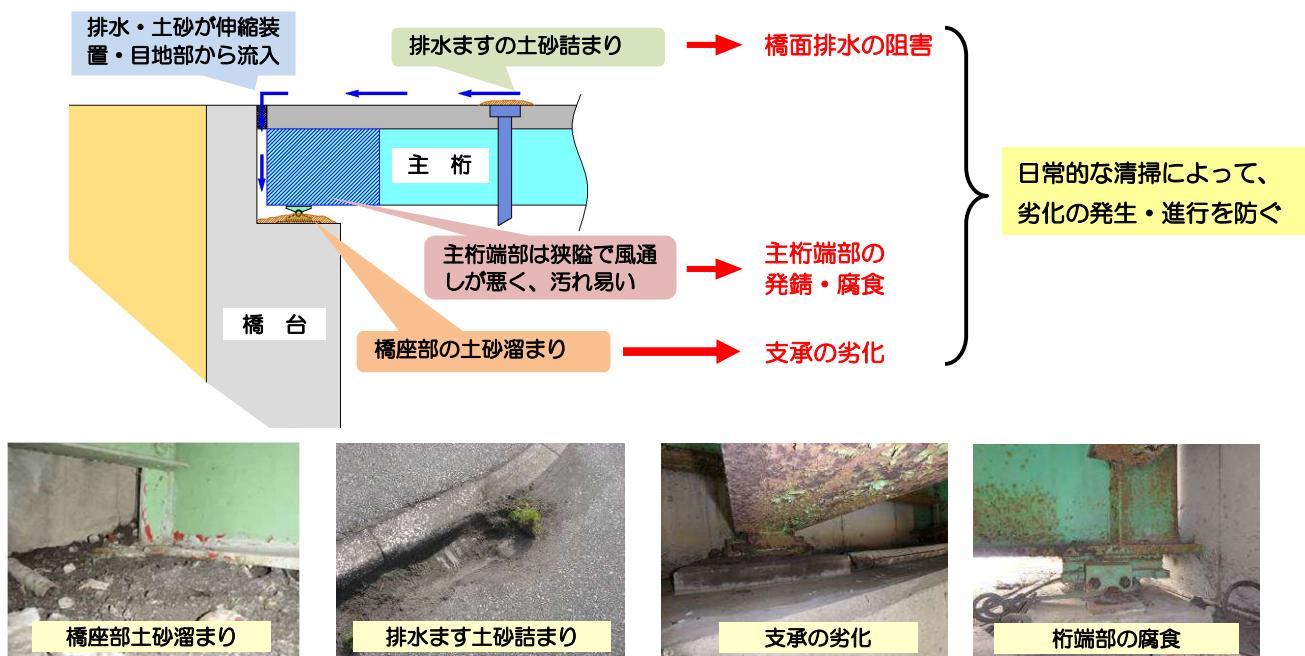
### 健全度把握の基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮しながら、橋梁の状態を早期かつ的確に把握するために「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局 平成31年2月）及び「橋梁定期点検要領」（国土交通省 道路局 国道・技術課 平成31年3月）に基づいて5年に1度の定期点検を実施します。

### 日常的な維持管理に関する基本的な方針

土砂撤去等の損傷要因の除去を目的とした日常的で地道な軽作業を行っていくことが、橋梁の長寿命化に対して極めて有効となります。橋梁点検、損傷に対する修繕等と併せて、橋梁における損傷の進行の予防を目的として、下記に示す軽作業等の日常的維持管理の実施に努めます。

【清掃内容例】 鋼部材（主桁端部）の清掃、排水ますの清掃、橋座部の清掃等



【清掃実施例】



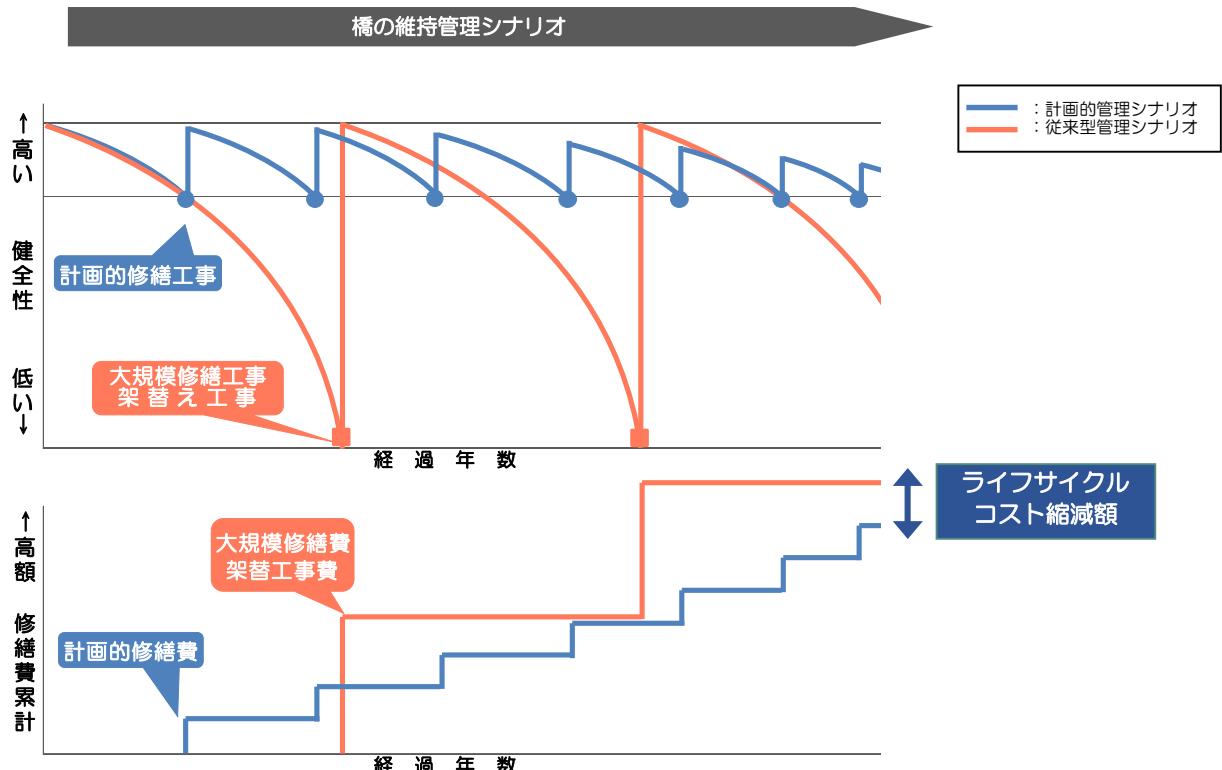
## 5 橋梁長寿命化修繕計画策定の考え方

- ◆ 「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局 平成31年2月）及び「橋梁定期点検要領」（国土交通省 道路局 国道・技術課 平成31年3月）に基づいた点検を行い、その結果から現状の損傷把握と健全性を評価します。

〔「道路橋定期点検要領」による判定区分〕

区分	状態
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

- ◆ 「跨線橋及び跨緊急輸送路橋」「1級河川に架かる橋梁」「幹線市道Ⅰ号線の橋及びその他跨道橋」を重要度の高い橋梁とし、各橋梁の特性に応じ優先順位を決定します。
- ◆ 維持管理シナリオを設定し、修繕時期あるいは架替え時期の検討を行います。
  - ・計画的管理シナリオ・・・定期的に点検を行い、損傷が深刻化する前に修繕を実施すること。
  - ・従来型管理シナリオ・・・損傷が深刻化してはじめて大規模な修繕あるいは架替えを実施すること。
- ◆ 各管理シナリオについてライフサイクルコストを比較し、経済性の優れた計画を策定することにより、橋梁に係わる維持管理コストの平準化を図ります。
- ◆ 策定した計画に基づいて修繕・架替えを実施します。また、定期的な点検と計画の見直しを実施し、一連のサイクルを繰り返して、橋梁の長寿命化を図ります。



## 6 橋梁長寿命化修繕計画による事業計画

---

橋梁長寿命化修繕計画では、定期的な点検や計画の見直し、計画的な修繕等により橋梁の長寿命化を目指します。対象橋梁ごとの次回点検時期や修繕時期については、下表に示す条件により決定します。

事業の基本的な実施時期	
点 検	点検は、5年ごとに行います。
事業計画見直し	事業計画は、定期的に見直しを行います。
修繕設計	修繕設計は、計画された補修工事を実施する前に行います。
修繕工事	修繕工事は、単年度に集中しないように複数年に振り分けます。

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び補修内容・時期

No	橋梁名	構造形式	橋長 (m)	幅員 (m)	架設年次	供用年数 (2022年を基準)	最新点検年次	所在地	判定区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
										(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)
1	第0089橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.4	5.0	不明	–	R1	大字日野3012番地2先	II			△					△		
2	第0090橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.1	4.1	不明	–	H29	大字日野2940番6地先	II				△				△		
3	第0092橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)+H型鋼橋	5.2	4.9	不明	–	R1	大字日野450番地7先	II			△					△		
4	第0096橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.3	3.5	不明	–	R1	大字川辺堀之内210番地先	I			△					△		
5	第0100橋	RC橋 RC中実床版	2.2	5.0	不明	–	H30	大字川辺堀之内584番地先	II		△								
6	第0103橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.4	8.2	不明	–	H29	大字川辺堀之内119番地先	II										
7	第0105橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.5	2.6	不明	–	R1	大字上田477番地先	I			△					△		
8	第0107橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.8	7.2	不明	–	R1	大字上田158番地1先	II			△					△		
9	第0107橋(歩道部)	H型鋼橋	7.4	1.8	不明	–	H27	大字上田158番地1先	I				△				△		
10	源平島橋	PC橋 プレテン床版	8.2	6.9	1982	40	R1	万願寺一丁目35番地8先	II			△					△		
11	第1002橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.1	12.3	不明	–	H29	万願寺三丁目51番地13先	II			△					△		
12	第1003橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.1	12.8	不明	–	H29	万願寺三丁目52番地1先	II			△					△		
13	第1004橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	22.0	不明	–	H29	万願寺四丁目22番地11先	II			△					△		
14	第1005橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺四丁目22番地17先	I			△					△		
15	第1006橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺四丁目21番地11先	II			△					△		
16	第1007橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺四丁目20番地12先	II			△					△		
17	第1008橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺四丁目16番地13先	II			△					△		
18	第1009橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.6	不明	–	H29	万願寺四丁目15番地12先	II			△					△		
19	第1010橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺二丁目48番地3先	II			△					△		
20	第1011橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺二丁目48番地5先	II			△					△		
21	根川大橋	PC橋 プレテン床版	8.3	10.2	1981	41	H29	万願寺二丁目29番地19先	II			△					△		
22	水車橋	PC橋 プレテン床版	8.2	4.8	1981	41	R1	万願寺二丁目9番地18先	II			△					△		
23	下田橋	PC橋 プレテン床版	8.7	8.8	1982	40	H29	万願寺二丁目8番地23先	II			△					△		
24	北河原橋	PC橋 プレテン床版	8.8	6.8	1981	41	R1	万願寺二丁目7番地2先	II			△					△		
25	第1016橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	12.0	不明	–	H29	万願寺四丁目27番地9先	II			△					△		
26	第1017橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.7	13.0	不明	–	R1	万願寺五丁目1番地1先	II			△					△		
27	第1018橋	RC橋 その他(RC橋)	4.0	12.0	不明	–	R1	石田二丁目8番地2先	II			△					△		
28	第1019橋	RC橋 その他(RC橋)	4.0	12.0	不明	–	H29	石田二丁目7番4先	II			△					△		
29	ねんも橋	鋼溶接橋 H形鋼(不明)	15.1	6.9	1976	46	H29	三沢一丁目24番地1先	II			△					△		
30	第3001橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.3	4.6	不明	–	R1	南平四丁目8番6地先	I			△					△		
31	南平4号橋	PC橋 プレテン床版	7.3	4.8	不明	–	H29	南平四丁目7番2地先	II			△					△		
32	幹線市道II-19号線橋	PC橋 ポスティT桁	93.7	7.3	1975	47	H30	南平五丁目9番1地先	II		△						△		
33	ほほえみ橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.9	5.7	不明	–	H29	高幡528番3地先	II			△					△		
34	第3007橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.0	6.0	不明	–	R1	新井334番2地先	I			△					△		
35	第3008橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.4	4.2	不明	–	H29	新井366番2地先	II			△					△		
36	精進橋	鋼溶接橋 I桁(不明)	13.5	8.9	1973	49	R1	三沢508番2地先	II			△					△		
37	百草橋	鋼溶接橋 I桁(不明)	17.4	8.6	1972	50	R1	落川102番地先	II			△					△		
38	第3011橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.7	6.8	不明	–	H29	落川546番1地先	II			△					△		
39	第3013橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.0	7.1	不明	–	R1	落川626番地先	II			△					△		
40	第3014橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.6	3.2	不明	–	H29	西平山五丁目44番6号地先	III	△									
41	第3015橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.5	3.0	不明	–	H29	西平山三丁目	I	△						△			
42	平山1号橋	RC橋 RC床版橋(その他)	5.0	4.5	1981	41	R1	平山五丁目26番8地先	II			△					△		
43	平山1号橋(歩道部)	鋼溶接橋 I桁(鋼床版)	14.0	2.5	1981	41	H27	平山五丁目26番8地先	II			△					△		
44	幹線市道II-27号線橋	RC橋 その他(RC橋)	56.3	6.7	1968	54	R1	平山五丁目26番14地先	II			△					△		
45	幹線市道II-27号線橋(歩道部)	RC橋 その他(RC橋)	14.0	2.3	不明	–	R1	平山五丁目26番14地先	II			△					△		

No	橋梁名	構造形式	橋長 (m)	幅員 (m)	架設年次	供用年数 (2022年を基準)	最新点検年次	所在地	判定区分 (R4) (R5) (R6) (R7) (R8) (R9) (R10) (R11) (R12) (R13)	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
										2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
46	滝合橋	PC橋 プレテン床版 RC橋 RC床版橋(その他) PC橋 プレテンT桁	219.7	8.5	1968	54	H27	平山五丁目23番1地先	II			△					△		
47	第3022橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.2	6.0	不明	-	H29	南平六丁目14番27地先	II	△				△					
48	第3023橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.4	5.0	不明	-	R1	南平七丁目17番4地先	II			△					△		
49	中程久保橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	13.7	9.2	1982	40	H29	程久保八丁目7番39地先	II			△					△		
50	幹線市道I-4号線橋	鋼溶接橋 箱桁(非合成)	32.9	8.5	1970	52	H27	程久保795番1地先	II			△					△		
51	第3026橋	RC橋 RC床版橋(その他)	9.5	11.5	不明	-	H29	平山四丁目18番地先	II	△				△					
52	湯沢橋	PC橋 プレテンT桁	15.7	11.7	1969	53	H30	程久保887番地先	II		△					△			
53	湯沢橋(歩道部)	H型鋼 H形鋼(不明)	25.7	2.6	不明	-	H30	程久保887番地先	III	●	△					△			
54	第3028橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.1	15.4	不明	-	H29	程久保888番1地先	II	△				△					
55	第3029橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.6	13.0	不明	-	R1	程久保六丁目4番9地先	II			△					△		
56	第3030橋	RC橋 RC床版橋(その他)	5.2	2.8	不明	-	R1	南平四丁目7番21地先	I			△					△		
57	第3031橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.1	4.0	不明	-	H29	南平四丁目2番7地先	II	△				△					
58	第3032橋	RC橋 RC T桁	8.2	3.0	不明	-	R1	南平五丁目1番7地先	II			△					△		
59	第3034橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.0	4.6	不明	-	R1	高幡629番3地先	II			△					△		
60	第3035橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.1	6.7	不明	-	H30	高幡664番2地先	II		△					△			
61	南平小橋	H型鋼 H形鋼(不明)	13.5	4.5	不明	-	H29	南平四丁目11番18地先	II	△					△				
62	第3037橋	RC橋 RC中実床版	2.2	1.8	不明	-	H30	南平三丁目12番3地先	I		△					△			
63	第3038橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.9	1.1	不明	-	R1	南平二丁目72番1地先	II			△					△		
64	第3039橋	RC橋 RC中実床版	2.9	12.9	不明	-	H30	南平六丁目16番22地先	II		△					△			
65	第3040橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.2	5.8	不明	-	R1	南平六丁目1番4地先	II			△					△		
66	境橋	PC橋 プレテン床版	11.6	5.2	1981	41	R1	三沢798番2地先	II			△					△		
67	下程久保橋	RCラーメン橋	13.2	6.8	1981	41	R1	程久保八丁目1番9地先	II			△					△		
68	潤徳橋	PC橋 プレテン床版	12.0	6.8	1980	42	R1	三沢689番5地先	II			△					△		
69	第3044橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.3	5.6	不明	-	H30	南平七丁目9番22地先	I		△					△			
70	第3046橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.7	1.6	不明	-	H29	平山三丁目1番22地先	II	△						△			
71	第3047橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	8.0	不明	-	R1	平山三丁目1番26地先	II			△					△		
72	第3049橋	RC橋 RC床版橋(その他)	5.0	6.0	不明	-	H27	程久保四丁目8番7地先	I				△				△		
73	第3052橋	RC橋 その他(RC橋)	5.1	2.0	不明	-	R1	程久保五丁目17番5地先	II			△					△		
74	第3054橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.8	8.0	不明	-	H29	南平九丁目39番5地先	II	△						△			
75	第3055橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.5	9.8	不明	-	R1	大字上田344番地4先	I			△					△		
76	第3056橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.5	5.6	不明	-	R1	大字上田332番地3先	I			△					△		
77	栄橋	RC橋 その他(RC橋)	6.2	8.1	不明	-	H29	栄町五丁目4番地16先	II	△						△			
78	中橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.3	5.0	不明	-	H29	栄町五丁目7番地19先	I	△						△			
79	第5006橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.3	7.0	不明	-	H30	栄町五丁目3番地12先	I		△					△			
80	第5007橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.2	9.0	不明	-	R1	栄町三丁目21番地14先	II			△					△		
81	新東橋	RC橋 RC床版橋(その他)	6.9	4.3	1965	57	R1	栄町三丁目	II			△					△		
82	河童橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.9	3.6	不明	-	R1	栄町三丁目	II			△					△		
83	第5010橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.1	4.0	不明	-	R1	栄町四丁目16番地6先	II			△					△		
84	緑橋(旧橋)	PC橋 ポステン箱桁	52.8	6.8	1966	56	H29	新町四丁目16番地41先	III	△						△			
85	緑橋(新橋)	鋼溶接橋箱桁(鋼床版)	48.0	8.6	2012	10	H29	新町五丁目	II	△						△			
86	東光寺橋	PC橋 ラーメン橋	46.0	4.7	1967	55	H29	新町四丁目16番地32先	III	△					○	△	●		
87	新坂上橋	PC橋 ポステン中空床版	53.1	4.7	1967	55	H29	新町四丁目	III	△					○	△	●		
88	新坂西橋	PC橋 ポステン中空床版	56.6	4.7	1967	55	H29	新町四丁目16番地4先	III	△					△○		●		
89	第5015橋	RC橋 RC床版橋(その他)	7.1	6.9	不明	-	R1	栄町二丁目28番地1先	II			△					△		
90	第5016橋	RC橋 RC床版橋(その他)	5.7	5.5	不明	-	R1	栄町三丁目3番地2先	II			△					△		

No	橋梁名	構造形式	橋長(m)	幅員(m)	架設年次	供用年数(2022年を基準)	最新点検年次	所在地	判定区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
										(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)
91	第5017橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.5	2.1	不明	–	H27	栄町二丁目	I			△				△			
92	第5018橋	RC橋 RC床版橋(その他) +RC溝橋(BOXカルバート)	3.9	5.4	不明	–	R1	栄町二丁目	II			△				△			
93	第5019橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.0	7.3	不明	–	R1	日野本町五丁目	II			△				△			
94	第5020橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.7	10.6	不明	–	H29	日野本町五丁目	II	△					△				
95	第5021橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.9	10.3	不明	–	H29	日野本町五丁目	II	△					△				
96	第5022橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	4.0	7.4	不明	–	R1	新町三丁目1番地1先	II			△				△			
97	第5023橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.7	4.6	不明	–	R1	新町一丁目6番地45先	II			△				△			
98	第5024橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.4	4.2	不明	–	H29	新町二丁目2番地9先	III	△	●				△				
99	第5025橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	4.0	不明	–	R1	栄町二丁目3番地16先	II			△				△			
100	第5026橋	RC橋 その他(RC橋)	3.0	3.2	不明	–	R1	新町一丁目5番地10先	I			△				△			
101	第5028橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.2	13.3	不明	–	H29	栄町二丁目6番地1先	II	△					△				
102	第5029橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.7	6.2	不明	–	R1	日野本町七丁目	II			△				△			
103	第5030橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	12.1	不明	–	H29	日野本町五丁目	II	△					△				
104	第5031橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	8.4	不明	–	H29	日野本町五丁目	II	△					△				
105	第5032橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	9.8	不明	–	H29	日野本町四丁目24番1号地先	II	△					△				
106	第5033橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.7	15.4	不明	–	H29	日野本町七丁目6番17号地先	II	△					△				
107	大坂橋	PC橋 ラーメン橋	40.5	6.7	1968	54	H29	大坂上四丁目4番地19先	III	△					△○	●			
108	第5036橋	RC橋 その他(RC橋)	3.5	9.0	不明	–	R1	日野本町二丁目	II			△				△			
109	第5037橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.8	5.5	不明	–	H29	日野本町七丁目	II	△					△				
110	第5038橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.1	4.2	不明	–	R1	日野本町七丁目1番地18先	I			△				△			
111	第5039橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.3	5.6	不明	–	R1	大字日野1436番地2先	I			△				△			
112	第5041橋	RC橋 RC中実床版	2.3	4.3	不明	–	H30	大字日野1051番地9先	II		△				△				
113	第5042橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.4	4.3	不明	–	H29	大字日野1064番地12先	II	△					△				
114	第5043橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.3	4.6	不明	–	R1	大字日野842番地4先	II			△				△			
115	第5044橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.2	4.6	不明	–	R1	大字日野844番地9先	II			△				△			
116	神明橋	鋼単純箱桁	50.4	8.8	1978	44	H28	大坂上一丁目	II						△	○	△●		
117	横穴橋	PC橋 PCプレテン床版	7.4	6.0	1975	47	H28	大坂上一丁目	II			△				△			
118	矢の上橋	PC橋 ラーメン橋	40.4	6.7	1966	56	H29	日野本町三丁目4番地26先	III	△					△ ○	●			
119	市道D22-1号線橋	PC橋 PC桁橋(その他)	25.0	2.0	1968	54	H28	神明四丁目	II			△				△			
120	第5049橋	RC橋 その他(RC橋)	3.3	3.0	不明	–	R1	日野本町二丁目	II			△				△			
121	第5050橋	RC橋 その他(RC橋)	3.3	1.6	不明	–	H28	日野本町二丁目15番地3先	I			△				△			
122	第5051橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.5	6.2	不明	–	H29	日野本町一丁目	II	△					△				
123	第5052橋	RC橋 RC中実床版	2.3	5.3	不明	–	H30	大字日野	II		△				△				
124	第5053橋	RC橋 RC中実床版	2.5	8.9	不明	–	H30	日野本町一丁目	I		△				△				
125	第5054橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.5	9.1	不明	–	H28	大字日野	I			△				△			
126	第5056橋	H型鋼 H形鋼(不明)	3.8	4.6	不明	–	H28	栄町二丁目	II			△				△			
127	大手橋	PCボックスカルバート橋	4.4	6.9	1985	37	R1	大字日野66番地7先	I			△				△			
128	上萬橋	PC橋 プレテン床版	5.3	6.9	不明	–	H29	大字日野33番1号地先	II	△					△				
129	第5061橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.8	11.0	不明	–	R1	大字日野	II			△				△			
130	第5062橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.4	4.6	不明	–	R1	大字日野	II			△				△			
131	矢頭橋	3径間PCホストテーションT桁	64.6	9.4	1968	54	H28	大坂上四丁目	III	○	●	△					△		
132	第5067橋	ホストテーションT桁	3.0	3.6	不明	–	H28	日野市東豊田一丁目51番地1先	I			△				△			
133	第5068橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.4	5.3	不明	–	H29	日野市東豊田一丁目49番地20先	II	△					△				
134	第5069橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.4	7.7	不明	–	R1	日野市東豊田一丁目47番地5先	II			△				△			
135	しんめいはし	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.4	6.4	2006	16	H29	栄町五丁目18番地8先	I	△					△				

No	橋梁名	構造形式	橋長(m)	幅員(m)	架設年次	供用年数 (2022年を基準)	最新点検年次	所在地	判定区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
										(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)
136	第5072橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	4.9	5.1	不明	-	H28	栄町五丁目20番地9先	I				△				△		
137	第6001橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.1	6.0	不明	-	H29	新井802番地5先	II	△				△					
138	第6002橋	RC橋 RC床版橋(その他)	4.4	6.0	不明	-	R1	落川114番地4先	II			△				△			
139	第6003橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.7	7.8	不明	-	H28	新井484番地2先	I			△					△		
140	上郷橋	鋼溶接橋 I桁(鋼床版)(不明)	17.6	4.8	1980	42	R1	高幡74番地1先	II			△				△			
141	寺が背戸橋	PC橋 ポステンT桁	12.6	7.2	1980	42	R1	三沢634番地1先	II			△				△			
142	後畠橋	H型鋼 H形鋼(不明)	14.5	6.8	1976	46	H29	三沢242番地2先	II	△				△					
143	八小橋	鋼溶接橋 H形鋼(不明)	16.6	6.8	1973	49	H29	三沢217番1先	II	△				△					
144	落川橋	H型鋼 H形鋼(不明)	15.2	6.7	1972	50	H29	落川307番地先	II	△				△					
145	浅川橋	I桁鋼(不明)	14.9	4.7	1972	50	R1	落川286番地2先	II			△				△			
146	玉川橋	H型鋼 H形鋼(不明)	16.4	4.7	1971	51	R1	落川494番地先	II			△				△			
147	第6014橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.1	9.7	不明	-	H30	落川563番地先	I		△				△				
148	第6015橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.0	6.4	不明	-	H28	落川597番地1先	I			△				△			
149	第6016橋	RC橋 RC中実床版	2.4	1.8	不明	-	H30	新井510番地先	II		△				△				
150	第6018橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.6	3.5	不明	-	R1	百草796番地2先	II			△				△			
151	ふれあい橋	鋼溶接橋 箱桁(斜張橋)	148.0	7.4	1991	31	H29	万願寺294番地先	II	△○				△					
152	一番橋	PC橋 ポステンT桁	130.6	16.1	2008	14	H30	東豊田二丁目1番地先	II		△					△			
153	第8002橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.0	6.0	不明	-	H28	西平山四丁目20番地12先	I			△				△			
154	第8003橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.6	18.6	不明	-	H29	平山四丁目18番地23先	II	△				△					
155	第8004橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.7	10.2	不明	-	H28	平山四丁目2番地4先	I			△				△			
156	第8005橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.4	2.5	不明	-	H29	平山五丁目27番地5先	II	△				△					
157	奥山橋	PC橋 ラーメン橋	31.7	8.8	1972	50	H30	平山二丁目36番地1先	II		△				△				
158	第8011橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.6	10.5	不明	-	H29	西平山四丁目13番地19先	I	△				△					
159	東豊田陸橋	RC5径間連続中空床版橋	85.8	16.0	1991	31	R1	東豊田一丁目52番地8先	II			△				△			
160	第9001橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.2	2.5	不明	-	R1	大字日野699番地1先	II			△				△			
161	第9003橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.9	13.3	不明	-	R1	大字日野307番地8先	II			△				△			
162	第9005橋	RC橋 その他(RC橋)	3.2	6.2	不明	-	H28	大字宮245番地1先	I			△				△			
163	第9009橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.7	6.0	不明	-	R1	大字川辺堀之内190番地3先	II			△				△			
164	第9011橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.6	3.4	不明	-	H28	栄町四丁目12番5地先	II			△				△			
165	第9012橋	RC橋 RC床版橋(その他)	2.9	12.4	不明	-	H29	日野本町五丁目30番6地先	II	△				△					
166	第9013橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.3	8.6	不明	-	R1	日野本町五丁目11番4地先	II			△				△			
167	第9014橋	RC橋 その他(RC橋)	3.5	4.1	不明	-	R1	日野本町二丁目16番1地先	II			△				△			
168	第9015橋	RC橋 RC床版橋(その他)	3.7	1.5	不明	-	R1	日野本町一丁目13番12地先	II			△				△			
169	第9018橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	3.1	11.0	2008	14	H29	東豊田一丁目51番13地先	I	△				△					
170	第9101橋	RC橋 RC溝橋(BOXカルバート)	2.7	8.0	不明	-	R1	平山五丁目26-4	II		△					△			
171	立花橋	-	14.4	6.8	1973	49	-	三沢	-	△				△					
172	長沼橋	鋼3径間連続非合成箱桁	143.5	12.8	1993	29	H29	西平山三丁目	II	△				△					
事業費合計(百万円)(税抜き)										108	55	415	387	749	108	55	415	387	749

【凡例】

△ : 委託点検

○ : 修繕設計

● : 修繕工事

## 7 橋梁長寿命化修繕計画による効果

橋梁長寿命化修繕計画を策定することによる効果は以下のようになります。

### 橋梁の長寿命化

点検や修繕を計画的に行う計画的管理シナリオの橋梁は、重大な損傷が発見されるまで修繕を行わない従来型管理シナリオの橋梁に対して長寿命化が図れます。

### 安全性の確保

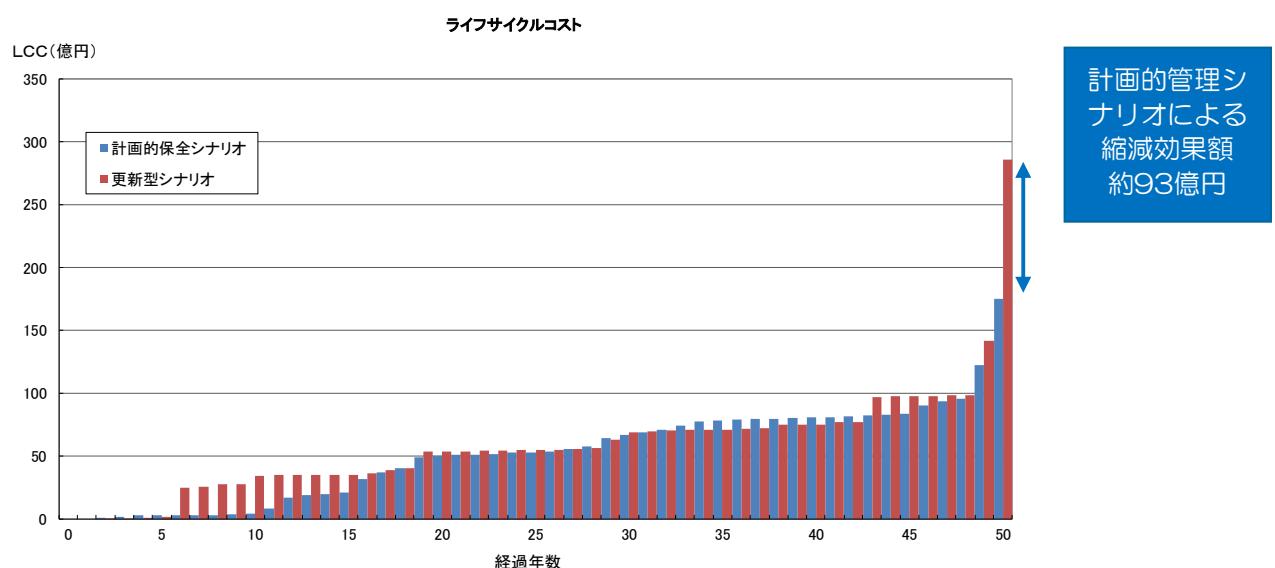
従来型管理シナリオでは重大な損傷が発見されるまで放置されるため、健全性の低い状態にあってもその把握ができずに危険な期間が生じる可能性があります。常に健全性を把握し計画的に修繕を実施することによって、安全性が持続的に確保されることになります。

### ライフサイクルコストの縮減

計画的に修繕を行い橋梁の寿命を適切に管理することにより、架替えや大規模修繕によって工事費が大きくなる対症療法的な管理よりもライフサイクルコストの縮減が図れます。

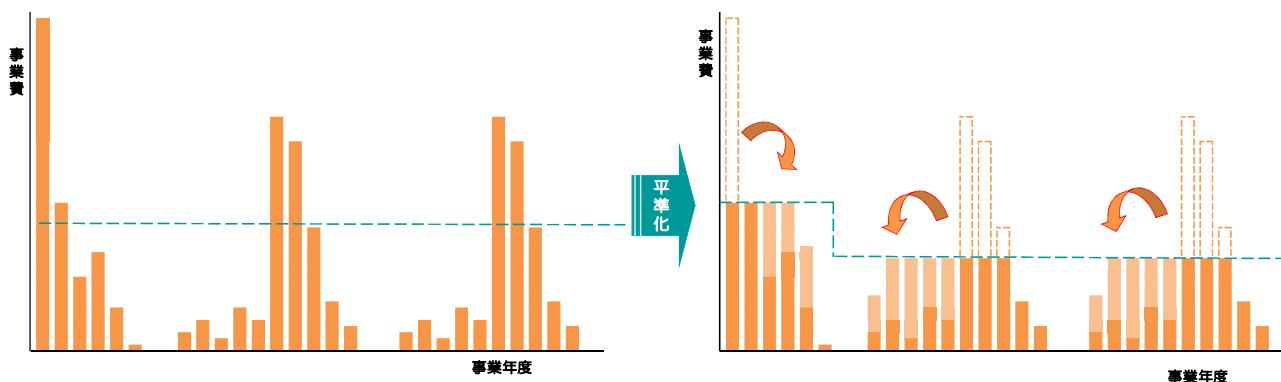
対象橋梁の計画的管理シナリオと従来型管理シナリオの累計維持管理費を算定しました。その結果、計画的管理シナリオが従来型管理シナリオの63%程度になり、50年間で約93億円の縮減効果が見込まれます。

累計LCC	従来型管理シナリオ	計画的管理シナリオ
	約251億円 (100%)	約158億円 (63%)



## 維持管理コストの平準化

維持管理に係わる費用が短期間に集中しないよう修繕実施時期を計画することにより、維持管理コストの平準化が図れます。



## 新技術等の活用などに関する短期的な目標の設定

### ◆ 新技術等の活用について

令和8年度までに、管理する全橋梁で定期点検及び補修を必要とする橋梁で新技術の活用を検討し、補修する1橋で従来技術を活用した場合と比較して約3百万円のコスト縮減を目指します。

また、補修設計に伴う詳細調査が必要になった場合には、調査方法について新技術の活用を検討します。

### ◆ 集約化・撤去について

施設の利用状況や周辺の道路ネットワークの整備状況の変化に応じた適正な配置となるよう検討し、現在、当市が管理する全橋梁で集約化・撤去を進め、うち1橋梁を既撤去、1橋梁を構造形式変更による対象外、1橋梁を管理者変更による対象外としました。

現在事業中の土地区画整理の進捗等に伴い、今後、6橋程度の集約化・撤去をすることで、1橋あたり点検1回につき50万円程度の維持管理費・点検費の費用縮減を図ります。

### ◆ 費用縮減について

補修設計の際、ライフサイクルコストの観点を考慮し、有効な工法・材料を採用することにより、工事費の費用縮減を目指します。

日野市は、令和2年2月に財政非常事態宣言を行い、令和3年度より財政再建期間となり、令和7年8月に宣言を解除しましたが、今後も財政状況に留意する必要があることからも、できる限りの費用縮減を目指します。

### ◆ フォローアップについて

5年に1回実施する定期点検の結果、社会情勢の変化や計画の進捗状況等、必要に応じて本計画の見直し(フォローアップ)を行います。

## 8 助言をいただいた学識経験者及び計画策定担当部署

---

### 計画策定時に助言をいただいた学識経験者

- ◆ 聴取内容：「日野市橋梁長寿命化修繕計画」の妥当性について
- ◆ 学識者：東京都立大学 都市環境学部  
宇治 公隆 教授

### 計画策定担当部署

- ◆ 日野市 まちづくり部 道路課 TEL 042-514-8422